



◇企業は面接で何を評価するのか？

もうすぐ就職試験（面接）が始まります！今回は、企業が面接で何を評価するのか、企業側の視点を載せてみました。面接の評価ポイントは、「**外面的要素**」「**内面的要素**」「**自社とのマッチング**」の3つに大別できます。「外面的要素」を決定するのは、身だしなみやマナー、話し方など。**人は会ってから数秒で第一印象が決まる**と言われており、面接の重要なポイントと言えます。「内面的要素」は、社会人として必要なコミュニケーション能力や協調性を持っているかということ。質問の答えやふるまいから判断されます。



主な評価項目

外 観	髪型、服装等に清潔感があるか
態 度	入退室のマナー、面接中の姿勢、声の大きさ、ハキハキとした動作
表 情	顔の表情、元気さ、身ぶり・手ぶり等の動作で伝わる熱意
理解力	聞かれた質問の意味を理解する力があるか
論理性	具体的・論理的に話をする力があるか
人 物	一緒に働きたいと思える人物か（主体性、積極性、責任感、協調性等）
能 力	強み、長所、特技、経験、資格、得意なことなどがあるか
経 験	学生時代の経験・知識の豊富さ、それらによる成長の足跡
意 欲	働くことに対する希望・目的意識、自社を志望する熱意

そして最後の評価ポイントは「自社とのマッチング」では、外面的要素・内面的要素を総合的に判断し、会社との適性度をはかります。

企業は、利益につながるから人を雇っています。そのため、「利益に貢献できる人材」を求めています。企業に「それはどんな人材か」とたずねたら、知識や技能は別として、「自分で考え行動出来るタイプ」と答えるはずです！



(資料出所 厚生労働省「高校生就職ガイダンス」より)

◇先輩からのアドバイス

氏名：林 由紀子 さん
(平成26年3月 郡上北高校卒)
白鳥自動車整備協業組合 勤務



☆高校時代について

高校時代は、地元で活動している和太鼓のチームに所属し、祭りやイベントなどに参加し、和太鼓や篠笛の演奏を頑張りました。就職に向けては、昨年の求人票をみてどのような会社から求人が出ているか確認するなど早めに準備をしました。また面接の時にしっかり答えられるよう、自分の考えをまとめたり、会社の特徴について調べました。

☆現在の仕事、会社について

事務職（受付、レジ会計、接客、伝票作成、書類作成、電話対応、パソコン入力）の仕事をしています。接客や書類作成などは少しずつ慣れてきて、仕事も任せてもらえるようになり、やりがいへとつながっています。

この会社に決めたのは、会社見学をした時に社内の雰囲気がとても良いと感じたからです。また高校で取得した簿記やエクセルの資格を活かすことができると思い、応募しました。勤務先の良いところは「お客様一人ひとりに親切で地域に密着している会社」というところです。

また地元で就職したので、通勤に便利であり時間に余裕があります。おかげで、自分の趣味にも時間が使え仕事と趣味を両立することが出来、郡上に決めて良かったと思っています。

☆皆さんへのメッセージ



就職に向けて早めに行動することが大切です。どのような会社に就きたいか、先生や家族と相談したり、面接や選考方法の対策を考えたいすると良いと思います。社会人として良いスタートがきれるよう、頑張ってください。

「あいさつ」「時間を守る」「身だしなみをきちんとする」など、基本的なことはいつでもできるようにするといいです。また敬語（言葉遣い）は就職するまでにきちんとできるようにしているといいと思います。

<編集後記> 高校生の場合、「高校生らしい元気がある」「言われたことは素直にできる」という人物像が伝われば採用担当者は良い印象を受けます。メリハリのない態度や元気のない対応をしてしまうと履歴書や筆記試験の出来が良くても採用されません。本番には元気よく臨みましょう。(A)